

あ き つ  
一般国道185号 安芸津バイパス  
事業再評価

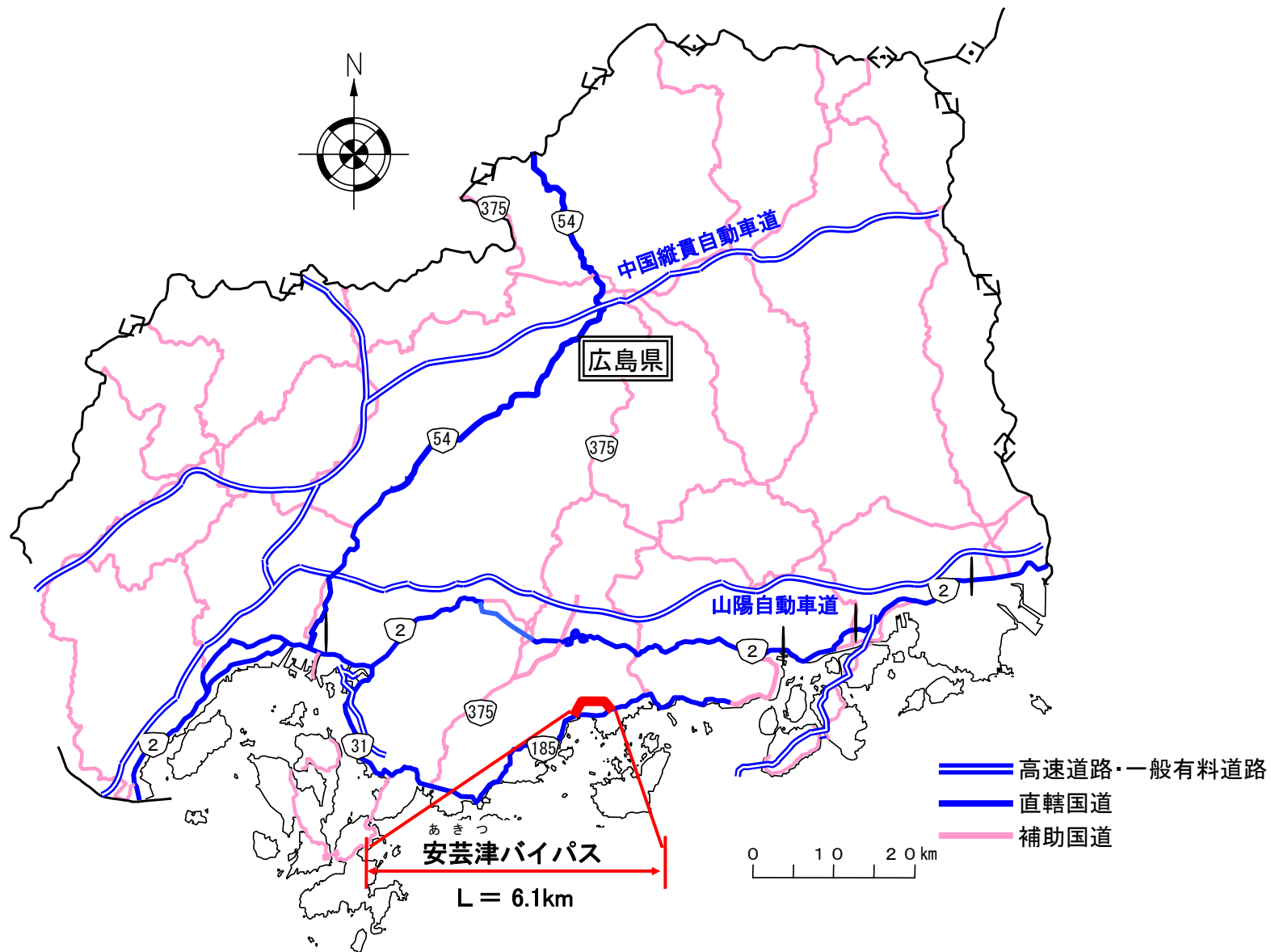
平成23年3月

国土交通省 中国地方整備局

# 1. 位置図

一般国道185号 安芸津バイパス

- 一般国道185号は、広島県呉市から三原市へ至る延長約72kmの主要幹線道路である。
- 安芸津バイパスは、東広島市安芸津町から竹原市吉名町に至る延長6.1kmの道路である。



# 2. 事業概要及び経緯

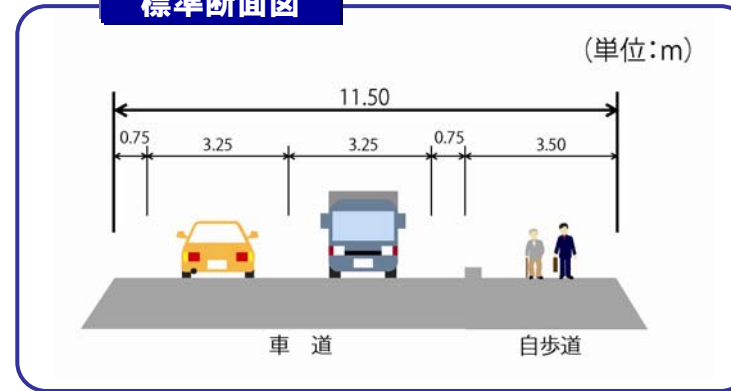
## (1) 事業概要

一般国道185号安芸津バイパスは、異常気象時の高潮や越波による路面冠水を回避することを目的とするとともに、また、道路幅員が狭く、急カーブなど線形不良箇所が多数ある現道において、朝夕の渋滞などを解消し、安全性・利便性の向上による地域経済の活性化・産業活動の効率化などを目的とした道路である。

### 計画概要

起 終 点	起点：東広島市安芸津町風早 終点：竹原市吉名町八代谷
計 画 延 長	L=6.1km
道 路 規 格	第3種第2級（設計速度60km/h）
車 線 数	2車線

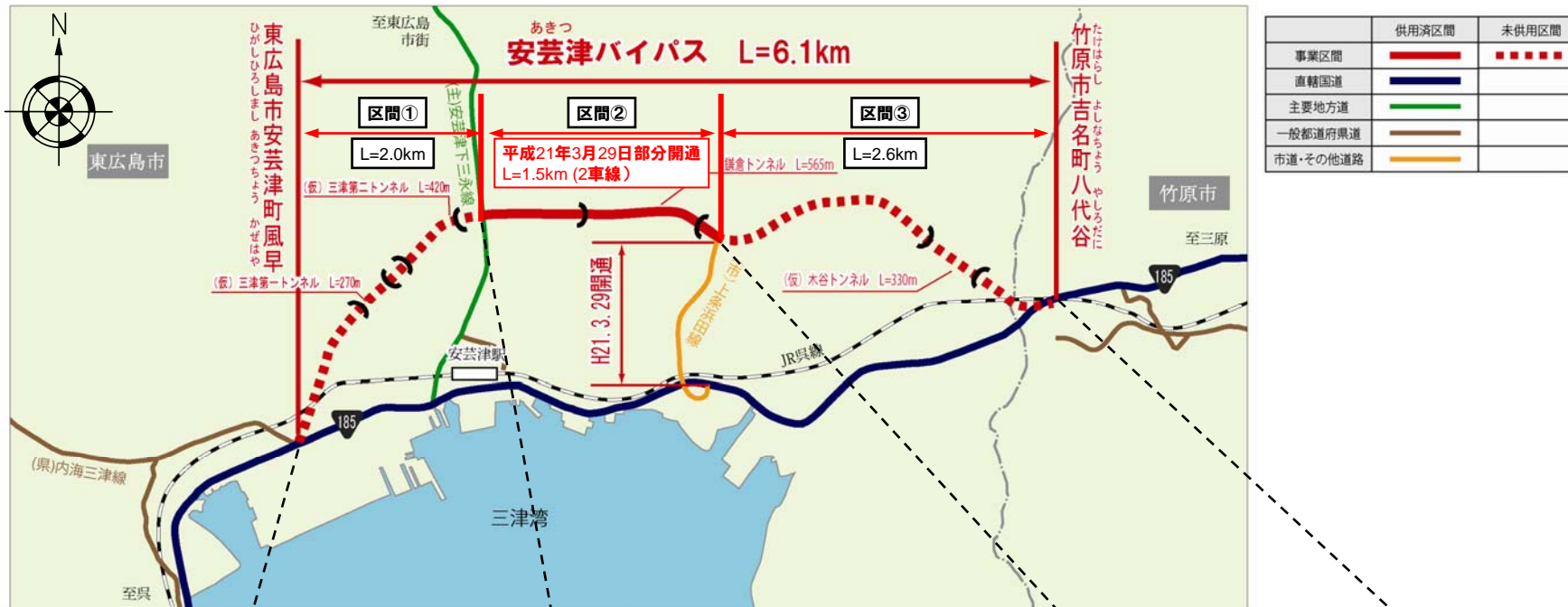
### 標準断面図



# 2. 事業概要及び経緯

## (2) 事業の経緯

- ・平成11年度に事業化し、(主)安芸津下三永線から(市)上条浜田線間の1.5kmを、平成21年3月29日に部分開通している。
- ・平成23年1月28日“安芸津みちづくり協議会”において構造見直し案(地元合意案)を作成。



事業経緯	年度	区間	あきつしもみながせん 起点～安芸津下三永線	あきつしもみながせん (主)安芸津下三永線～(市)上条浜田線	かみじょうはまだせん (市)上条浜田線～終点
	平成10年度	都市計画決定(平成11年3月)			
平成11年度	事業化				
平成13年度	用地着手				
平成17年度	工事着手				
平成20年度	平成21年3月29日部分開通				
平成21年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価 (2車線へ見直すことにより事業継続)				

# 2. 事業概要及び経緯

## (3) 進捗状況

- ・(主)安芸津下三永線から(市)上条浜田線間1.5kmを、平成21年3月29日に部分開通(2車線)。
- ・現在、残る区間の調査・設計を実施している。

### 事業全体の進捗状況(平成21年度末時点)

用地	32%
工事	30%
全体	31%

※総事業費に対する割合

	供用済区間	未供用区間
事業区間	——	----
直轄国道	——	----
主要地方道	——	----
一般都道府県道	——	----
市道・その他道路	——	----



【写真①】安芸津バイパスから(主)安芸津下三永線を望む



【写真②】(主)安芸津下三永線付近から鎌倉トンネルを望む

撮影：平成21年6月5日

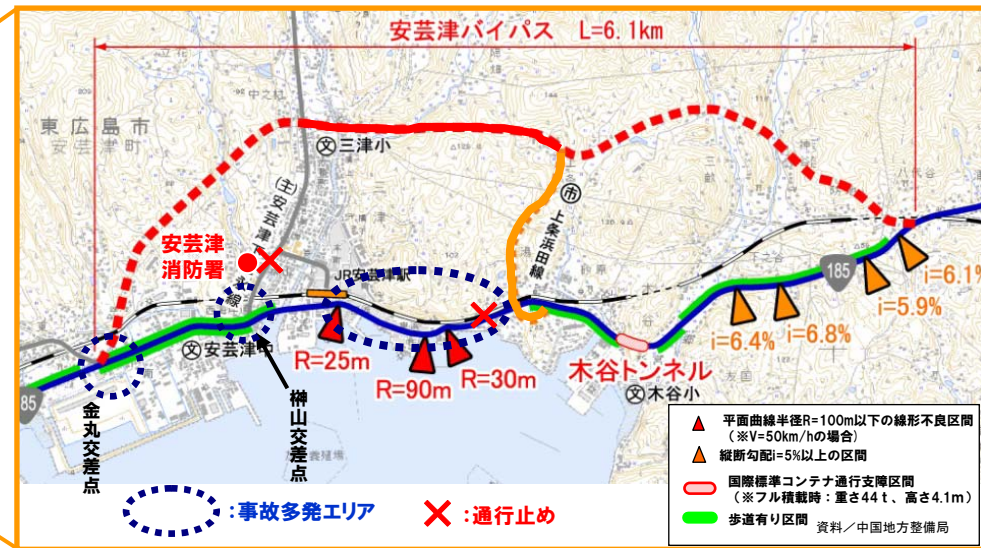
AM7:30頃



# 3. 地域から期待される道路の役割（効果）



✕ : 通行止め    〰 : 交通麻痺



〰 : 事故多発エリア    ✕ : 通行止め

## 異常気象時等

課題① 〰 ✕ ・災害による通行止め

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒通行止めによる迂回の解消  
 災害時の迂回ルート確保による不安解消

## 平常時

課題② ▲▲ ○ ・円滑なモビリティの確保

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒隘路区間や線形不良区間の走行に伴う精神的疲労の軽減  
 国際標準コンテナ車通行支障区間が解消による物流の効率化  
 交通容量の確保による交通混雑の緩和、沿道環境の改善

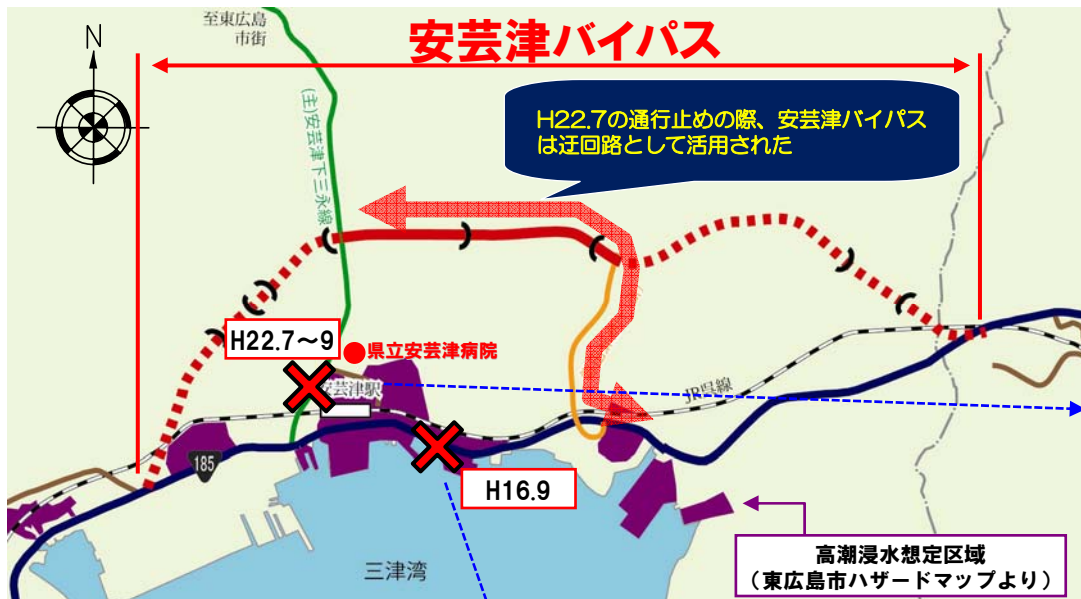
課題③ 〰 ・多発する交通事故

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒交通事故件数の削減

課題④ ● ・地域医療の支援

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒救急搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上

・国道185号(現道)では、台風による高潮(路面冠水)被害や集中豪雨による路面陥没により、通行止めが発生。



【平成22年7月 大雨による被災状況】

大雨による通行止及び片側交互通行

- ・全面通行止 平成22年7月14日～平成22年8月11日 (28日間)
  - ・片側交互通行 平成22年8月11日～平成22年9月17日 (37日間)
- ※被災箇所:(主)安芸津下三永線



地域住民からの声

- 安芸津バイパスが一部開通しているおかげで迂回路が確保でき、バスも運行されて大変助かった。
- JR南側から県立安芸津病院までの道路が確保できて良かった。

資料：広島国道事務所調べ

【平成16年9月7日 台風18号による被災状況】



越波や路面冠水による通行止

- 台風16号 (H16.8.30) : 路面冠水 (約3時間の全面通行止)
- 台風18号 (H16.9.7) : 越波 (約2時間20分の片側交互通行)
- 路面冠水 (約30分の全面通行止)

災害時の迂回ルートの確保による不安解消効果

……【約36億円】※

CVM(仮想市場法)により算出(後述)

※【 】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)



・国道185号の通行止めに伴い、大幅な迂回を強いられるなど、物流や地域の生活に影響を与えている。

【国道185号が通行止の場合】



災害時の通行止時に迂回する交通の損失解消効果

……【0.04億円】※

便益額(試算値) =  
(通行止め時の便益 - 通常時の便益) × 年間通行止め日数 ×  
評価期間(供用後50年間)

通行止時の医療サービスが享受できなくなる不安解消効果

……【41億円】※

CVM(仮想市場法)により算出(後述)

※【 】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)



# 異常時

## 課題① 災害による通行止 ①-3. リダンダンシーの確保

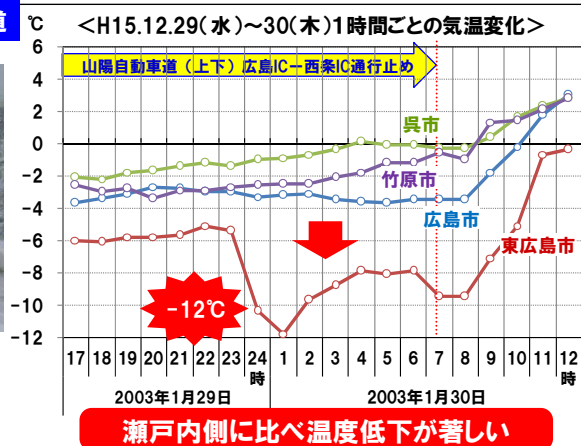
一般国道185号 安芸津バイパス

- ・東広島市周辺では、積雪により、国土の東西軸である山陽道と国道2号の両路線がマヒする事態が発生。
- ・代替路線として期待される国道185号では、安芸津町内の急カーブ・幅員が狭い区間などの存在で大型車の通行が困難。

### 積雪により麻痺する国道2号山陽道

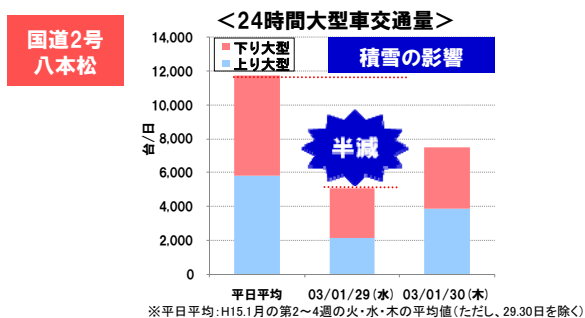


積雪により麻痺する国道2号  
(東広島市志和町周辺, H15. 1. 29)

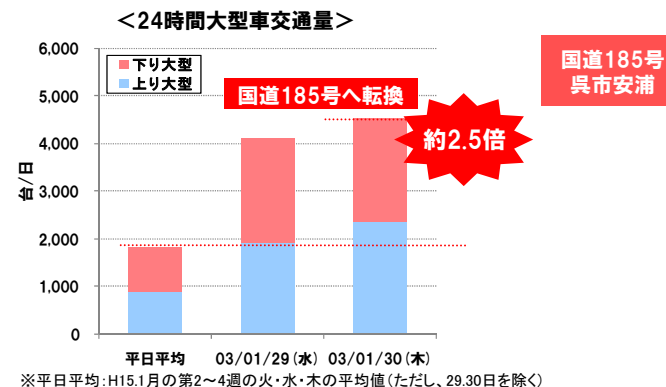


機能していた東西軸は積雪の少ない国道185号のみ

### 山陽道が通行止めの期間中の周辺交通状況

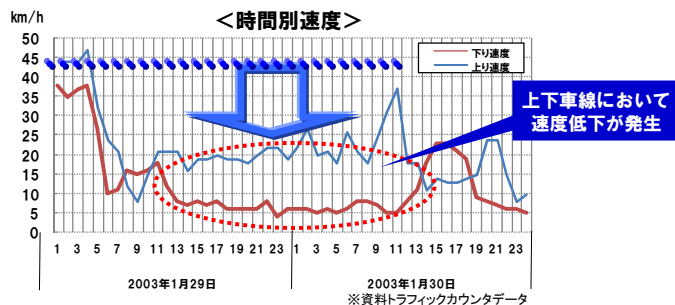


山陽道や  
国道2号から  
国道185へ  
交通が転換



しかし

安芸津町内には大型車通行困難箇所が存在



【期待される道路の役割(効果)】  
安芸津バイパスの整備により隘路区間を解消し、  
山陽道及び国道2号の代替路線として機能強化が図られる。

・並行現道には道路幅員がせまく、平面線形や縦断勾配のきつい区間が存在するため、大型車の離合等、交通のネックになっている。

【国道185号安芸津町の道路構造不良箇所】



- ▲ 平面曲線半径R=100m以下の線形不良区間 (※V=50km/hの場合)
- ▲ 縦断勾配=5%以上の区間
- 国際標準コンテナ通行支障区間 (※フル積載時：重さ44t、高さ4.1m)
- 歩道有り区間 資料/中国地方整備局



線形不良箇所の走行に伴う精神的疲労の軽減効果

CVM(仮想市場法)により算出(後述)

・・・【約49億円】※

新設道路への交通転換による並行現道の歩行者・自転車通行の快適性向上効果

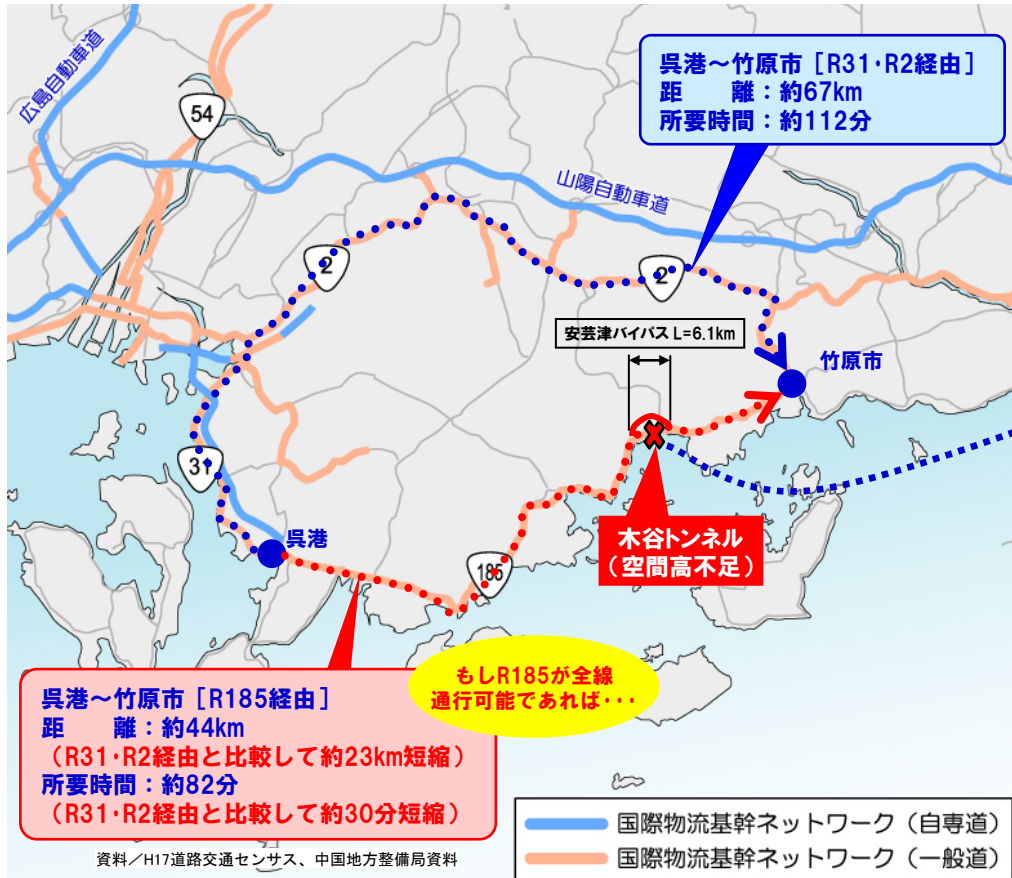
CVM(仮想市場法)により算出(後述)

・・・【約38億円】※

※【】試算値((供用後50年間の便益額として試算した値)



- ・国道185号は「国際物流基幹ネットワーク」※に指定されているにもかかわらず、国際標準コンテナ車通行支障区間である「木谷トンネル」が存在しており、物流の効率化に支障をきたしている。
- ・呉港などの港湾から陸上輸送する際、通行支障区間を迂回することによるリードタイムやコストの増加が国際競争力強化の観点から課題となっている。



※総合物流施策大綱(2005-2009)等を踏まえ、中国地方における効率的な物流ネットワークを構築する観点から、既存の幹線道路網の中から選択された、国際標準コンテナ車の通行を可能とすべき約2千9百kmの幹線道路ネットワーク。

**【期待される道路の役割(効果)】 バイパスが整備されることにより、国際標準コンテナ車通行支障区間が解消される。**

平常時

# 課題② 円滑なモビリティの確保 ②-3 国道185号の交通容量の不足

一般国道185号 安芸津バイパス

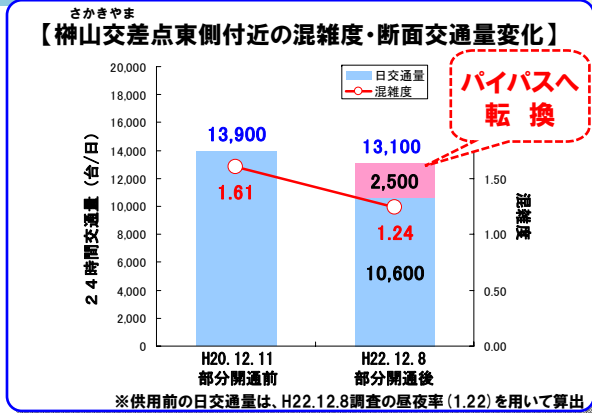
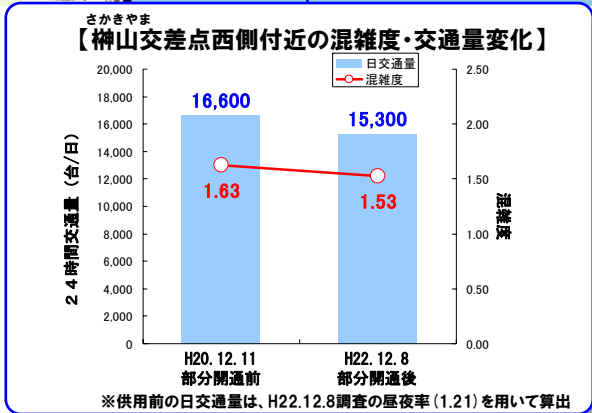
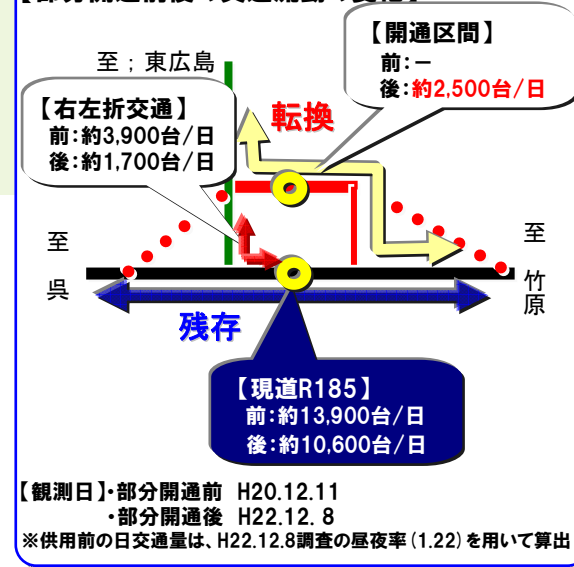
- ・H21年3月の部分開通により、東広島市街地と竹原方面間を移動する交通の一部(約2.5千台)がバイパスに転換し、榊山交差点での渋滞が緩和。
- ・しかし、東西方向(呉方面-竹原方面の間)を移動する交通の転換が進まず、現道の交通量が約1万台であり混雑は残存。
- ・バイパス区間と並行する現道では、榊山交差点の両側に混雑度1.0を超える区間が残存。



至竹原市

【写真①】安芸津町内の朝の渋滞状況 (部分開通前)

### 【部分開通前後の交通流動の変化】



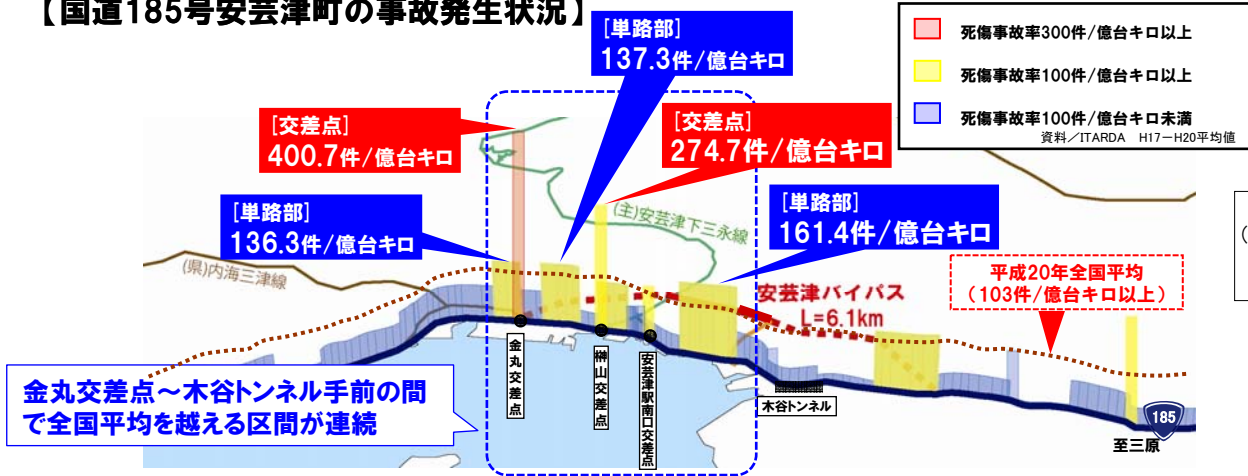


# 平常時 課題③ 多発する交通事故

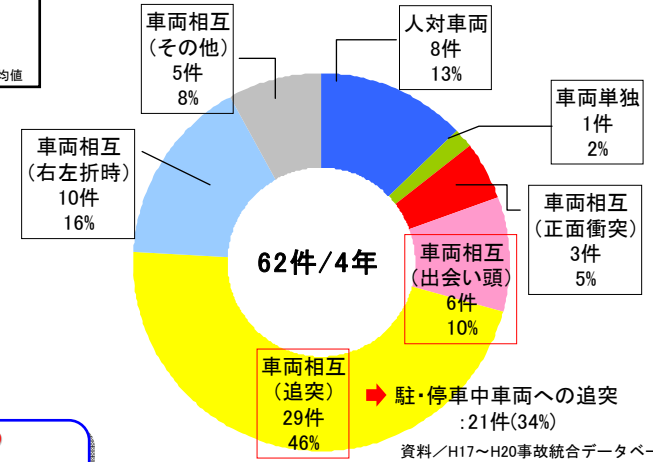
一般国道185号 安芸津バイパス

- ・国道185号東広島市安芸津町では、金丸交差点や榊山交差点及び木谷トンネルの西側付近で交通事故が多発。
- ・幅員狭小、歩道未整備、急カーブなどの道路構造不良や渋滞による速度低下、沿道施設からの出入交通などの要因により、多様な事故が発生している。

## 【国道185号安芸津町の事故発生状況】



## <事故類型> (金丸交差点～木谷トンネル手前)

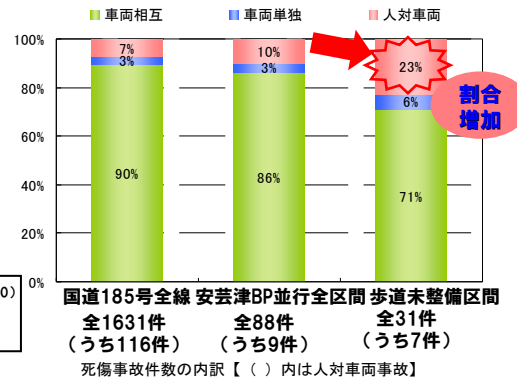


## 【国道185号安芸津町の人対車両事故発生状況】

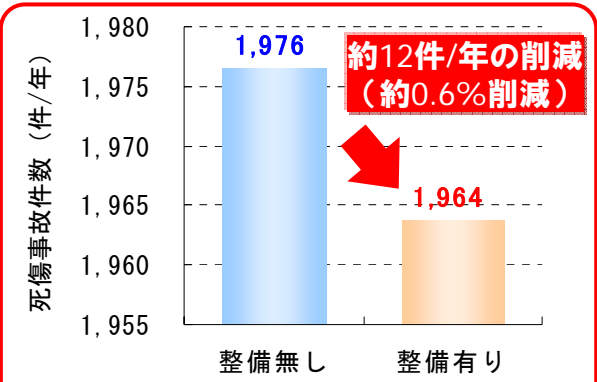


●死傷事故件数に占める人対車両事故の割合は、安芸津バイパス並行全区間で約1割であるのに対して、歩道未整備区間では約2割となっており、歩道未整備による影響が考えられる。

## <死傷事故件数に占める人対車両事故の割合>



## 【期待される効果】死傷事故件数の削減量



※H42交通量配分結果をもとに、安芸津バイパスの整備有無のケースの交通量を用いて算出  
 ※死傷事故件数算定式: 交通事故減少便益の原単位の算出方法 (H20年11月 国土交通省)  
 ※死傷事故件数算出対象範囲は、費用便益分析対象範囲と同じ

・安芸津消防署では、重症患者に対する出動件数が年間約55件発生しており、現道の道路構造不良区間や渋滞箇所が存在するなど、救命活動の妨げとなっている。



至 呉医療センター(呉駅の周辺に立地)

時間短縮効果

竹原市役所から  
呉医療センターへの所要時間

現況

【国道185号】経由：

約57分

整備後

約1分短縮

【国道185号+安芸津バイパス】

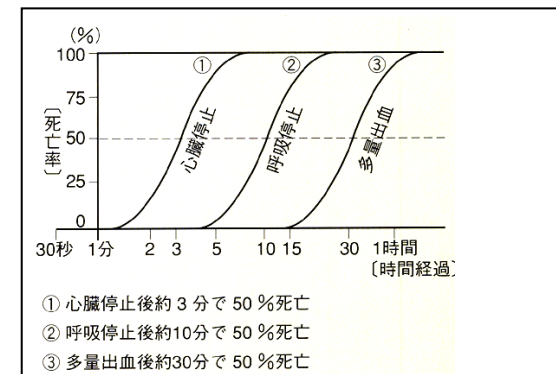
経由：約56分

竹原市役所

呉医療センター

※現況所要時間は規制速度を用いて算出。  
※将来所要時間は安芸津バイパスV=60km/h（事業区間）として算出。

▼カーラーの救命曲線



救急搬送時間の短縮により救命率が向上する効果

・・・【約0.4億円】※

便益額(試算値) = 救命処置を行うまでの時間が短縮されることにより救命される人数 × 死亡者損失額 × 評価期間(供用後50年間)

※【 】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)

# 4. 事業効果

## 4-① CVMによる便益計測

### ◆CVM(仮想市場法)による便益計測

仮想的市場評価法(CVM)適用の指針(平成21年7月)により負担金の支払意思額(WTP)を計測

⇒便益 = 支払意思額(WTP) × 集計世帯数 × 評価期間(供用後50年間)

- ・災害時の迂回ルートの確保による不安解消効果
- ・通行止時の医療サービスが享受できなくなる不安解消効果
- ・線形不良箇所の走行に伴う精神的疲労の軽減効果
- ・新設道路への交通転換による並行現道の歩行者・自転車通行の快適性向上効果

#### (1) 住民アンケートによる支払意思額の調査

- 事業箇所の利用交通があり、事業の効果に対する意識が高いと考えられる地域を調査範囲として、インターネット調査(WEB調査)を実施。  
【配布エリア(旧市区町村名で記載)】  
竹原市、安芸津町、呉市、音戸町、倉橋町、下蒲刈町、蒲刈町、安浦町、川尻町、豊浜町、豊町、三原市、大和町、本郷町、久井町、東広島市、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町
- 配付・回収状況  
配付数:6,028通  
回答数:878通(回収率:14.6%)

#### (2) 便益算定範囲の設定

- 便益算定範囲は、アンケート結果より、事業箇所周辺の認知度等を踏まえ、事業の効果に対する意識が高いと考えられる以下の地域とする。  
【便益算定範囲(旧市区町村名で記載)】  
竹原市、安芸津町、呉市、音戸町、倉橋町、安浦町、川尻町、三原市、大和町、本郷町、東広島市、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町

#### (3) 支払意思額の推計

- アンケートの有効回答をもとに、支払い意思額(WTP)を推計。  
有効回答数657数(74.9%)(便益算定エリア回答数:877通)

#### (4) 年便益の算定

- アンケートの有効回答の平均支払意思額を基に、年便益額を算定

▼効果項目別 WTP、便益算定結果【安芸津バイパス】

効果項目	支払意思額(WTP) (円/月/世帯)	便益算定世帯 (世帯数)	年便益 (億円/年)	総便益 (億円)
災害時の迂回ルートの確保による不安解消効果	95	222,422	3	36
通行止時の医療サービスが享受できなくなる不安解消効果	107		3	41
線形不良箇所の走行に伴う精神的疲労の軽減効果	128		3	49
新設道路への交通転換による並行現道の歩行者・自転車通行の快適性向上効果	99		3	38
合計	429		11	164

#### (5) 総便益の算定

- 評価期間を供用後50年間とし、  
現在価値を算定。

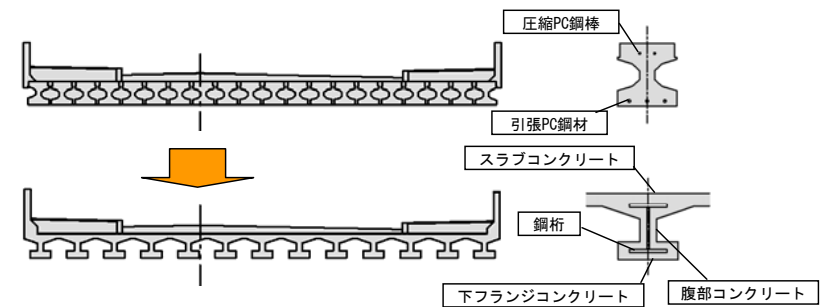
# 5. コストの縮減

## ■特殊工法の導入【単純プレビーム合成桁橋】

コスト縮減額：約1,000万円

鋼桁とコンクリートを合理的に合成した単純プレビーム合成桁橋を採用することで

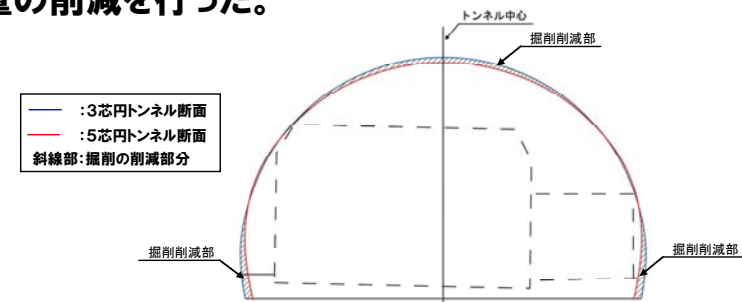
- ①低い桁高の選定が可能。
- ②コンクリート構造では、小さな支点反力で下部工費の軽減。
- ③分割工法による輸送、架設の省力化。



## ■トンネル掘削量の削減

コスト縮減額：約1,600万円

トンネル断面決定に当たり、5芯円で設計することでトンネル掘削量の削減を行った。





# 6. 整備効果

## ◆効果のとりまとめ(現在価値)

### ①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等

期待される道路の役割	定量化を試みた効果	貨幣換算を試みた効果
通行止めによる迂回の解消	・災害による通行止の解消 0.014日/年 → 解消	・災害時の通行止時に迂回する交通の損失解消効果 0.04(0.002)億円
・移動時間の短縮 ・移動時間の短縮等に伴う経費の減少 ・道路機能の向上による交通事故の減少	・人、車両、貨物の移動における短縮時間 ・総走行距離の短縮 ・道路種別毎の利用交通量の変化	・走行時間短縮便益 184(119)億円
		・走行経費減少便益 24(16)億円
		・交通事故減少便益 7(5)億円

### ②地域住民の不安感の解消

・災害時の迂回ルートの確保による不安解消	・災害による通行止の解消 0.014日/年 → 解消	・災害時の迂回ルートの確保による不安解消効果 36億円※
		・通行止時の医療サービスが享受できなくなる不安解消効果 41億円※

### ③その他

・隘路区間や線形不良箇所の解消による安全・安心の確保	・急カーブ(R<150m) 3箇所 → 解消 ・急勾配(I>5%) 4箇所(0.9km) → 解消	・線形不良箇所の走行に伴う精神的疲労の軽減効果 49億円※
交通容量の確保による交通混雑の緩和、沿道環境の改善	・沿道環境の改善 NOx排出量 5519 → 5500t/年 SPM排出量 472 → 470t/年 CO2排出量 1230 → 1227千t-CO2/年	・新設道路への交通転換による並行現道の歩行者・自転車通行の快適性向上効果 38億円※
		・CO2排出量の削減 1.2億円※
・救急搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上	・重症患者の救命率向上 安芸津消防署～吉名地区 約20分→約19分	・救急搬送時間の短縮により救命率が向上する効果 0.4億円※

( )書きは、残事業の便益額  
※試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)

## ◆見直し後の総費用(現在価値)

	項目	全体事業費	残事業費
総費用	事業費	158億円	94億円
	維持管理費	18億円	14億円
	計	177億円	108億円

# 7. 今後の対応方針（原案）

## 1. 再評価の視点

### ①事業の必要性の視点

#### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇道路幅員が狭く、急カーブなど線形不良箇所が多数あり、日常生活等に支障をきたしている。
- ◇異常気象時に高潮や越波により路面冠水が生じる区間でもあり、防災上の機能が求められている。

#### 2) 事業の投資効果

- ◇異常気象時等
  - 災害による通行止
    - ・通行止、迂回の解消
- ◇平常時
  - 円滑なモビリティの確保
    - ・隘路区間や道路構造不良区間の解消による安全・安心の確保
    - ・国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流の効率化
    - ・交通容量の確保による交通混雑の緩和、沿道環境の改善
  - 多発する交通事故
    - ・交通事故件数の削減
  - 地域医療の支援
    - ・救急搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上

#### 3) 事業の進捗状況

- ◇平成21年度末で、用地買収は32%が完了しており、現在までに1.5kmを供用している。

### ②事業の進捗見込み

- ◇今後も段階的に整備し、早期完成を目指して事業を推進する。

### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇特殊工法の採用やトンネル掘削量の削減により、コスト縮減を図っている。

## 2. 県への意見照会結果

#### 広島県知事の意見：

- 一般国道185号安芸津バイパスについて、対応方針（原案）案については異存ありません。
- 安芸津バイパスは、現道において、異常気象時に越波や路面冠水による通行止めが発生している区間があり、防災上の観点から重要な道路であると考えております。
- 現在、一部区間が供用されているものの交通転換が進まず、バイパスとしての機能が十分に発揮されていない状況となっております。
- つきましては、今後とも引き続きコスト縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。

### 【今後の対応方針（原案）】

- ・上記①、②の各視点により、防災面の効果が特に高いことから、今後とも**事業継続が妥当**。
- ・今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

一般国道185号 安芸津バイパス

〔費用・便益算定等資料〕

## 費用と便益の内容

※便益は、災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道185号	安芸津バイパス	L=6.1km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,900~9,300	2	中国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	179億円	61億円	240億円
うち残事業分	124億円	46億円	170億円
基準年における 現在価値 (C)	158億円	18億円	177億円
うち残事業分	94億円	14億円	108億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	13億円	2億円	0.5億円	15億円
基準年における 現在価値 (B)	184億円	24億円	7億円	215億円
うち残事業分	119億円	16億円	5億円	140億円



交通状況の変化

様式-3①

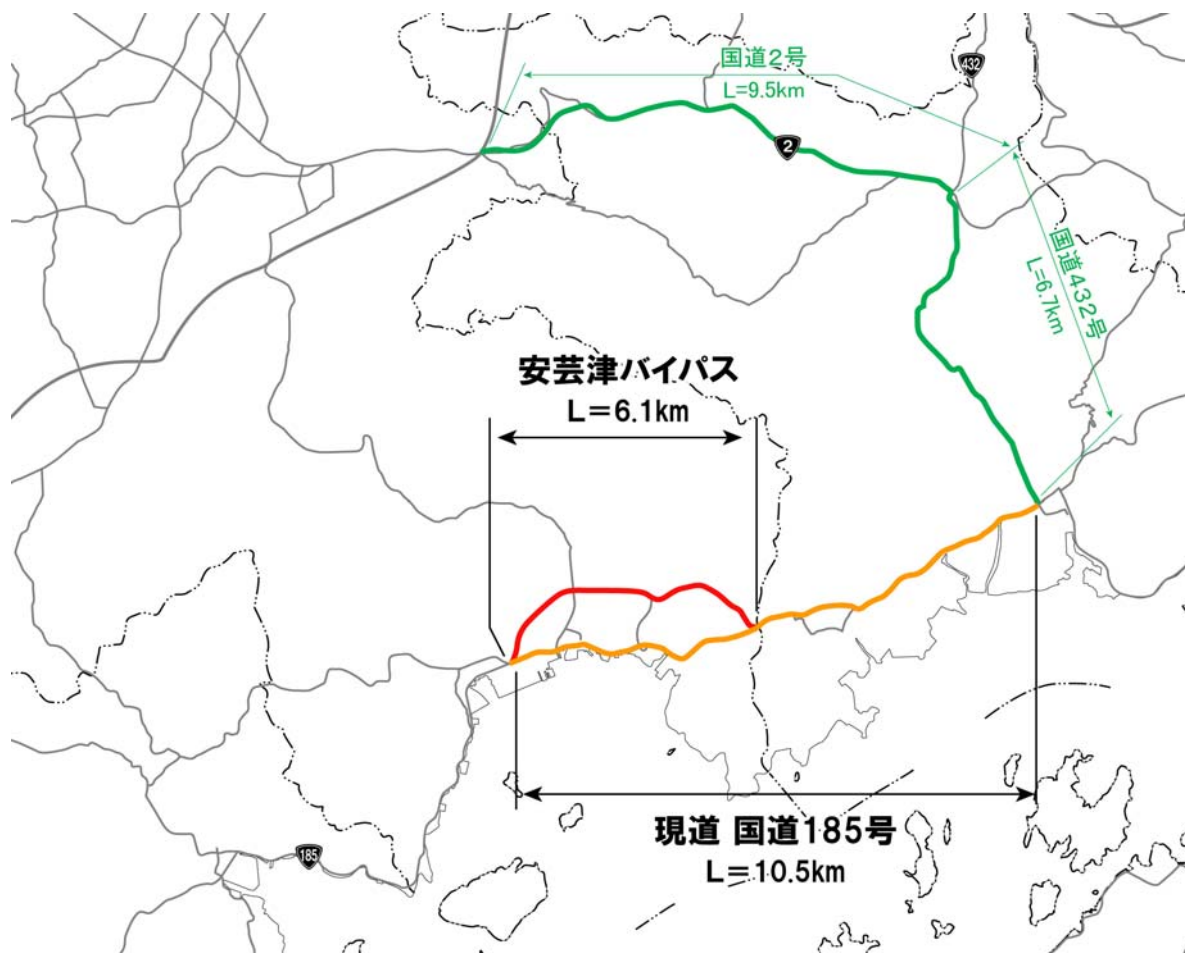
事業名：安芸津バイパス(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 6.1km	交通量	[台/日]	—	8,400	
	走行時間	[分]	—	7	
	走行時間費用	[億円/年]	—	9.86	
②主な周辺道路	国道185号 : 10.5km	交通量	[台/日]	8,300	6,300
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	28.83	20.91
	国道2号 : 9.5km	交通量	[台/日]	36,800	34,900
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	119.61	110.35
	国道432号 : 6.7km	交通量	[台/日]	13,700	11,900
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	26.13	22.62
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 1018.7km	走行時間費用	[億円/年]	2,239.50	2,237.53	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1051.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,414.03	2,401.23	12.80

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

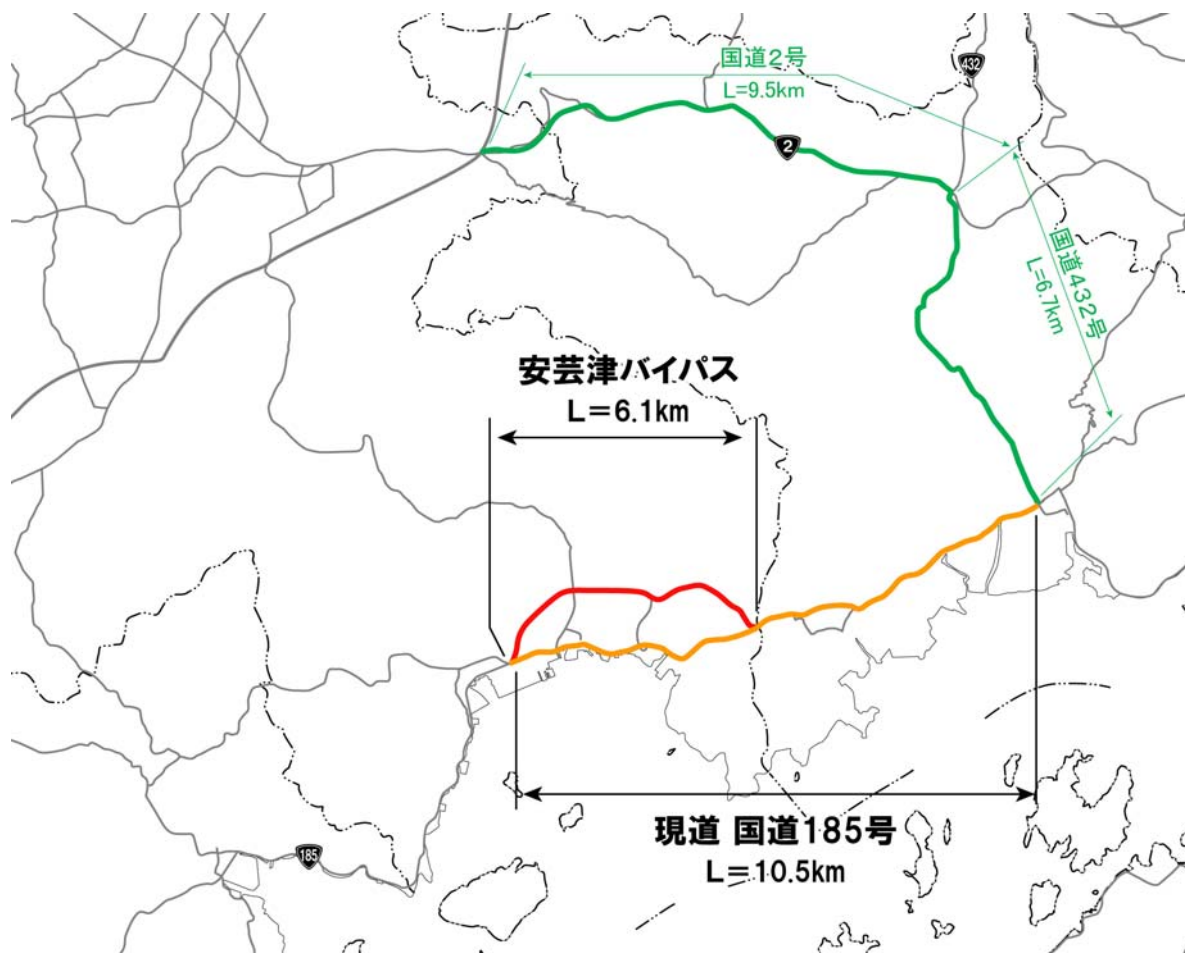
事業名：安芸津バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 6.1km	交通量	[台/日]	5,200	8,400	
	走行時間	[分]	2	7	
	走行時間費用	[億円/年]	1.51	9.86	
②主な周辺道路	国道185号 : 10.5km	交通量	[台/日]	8,800	6,300
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	30.15	20.91
	国道2号 : 9.5km	交通量	[台/日]	35,400	34,900
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	112.56	110.35
	国道432号 : 6.7km	交通量	[台/日]	12,400	11,900
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	23.43	22.62
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 1018.7km	走行時間費用	[億円/年]	2,241.88	2,237.49	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1051.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,409.53	2,401.23	8.30

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



## 算出の条件

事業名：安芸津バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみを推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他( )		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>	

交通流推計



(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( )%
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年間の通行止め日数より算出	(0.014)日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績値がないため	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載  冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	( )日	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				



費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:安芸津バイパス(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.21	6.1	1.28

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-22年目	H 10	1.6010	102.8	0.19	0.27		
-21年目	H 11	1.5395	101.3	0.48	0.67		
-20年目	H 12	1.4802	99.7	0.19	0.26		
-19年目	H 13	1.4233	98.4	3.06	4.04		
-18年目	H 14	1.3686	96.6	7.12	9.21		
-17年目	H 15	1.3159	95.4	6.27	7.90		
-16年目	H 16	1.2653	94.4	0.65	0.80		
-15年目	H 17	1.2167	93.2	4.24	5.05		
-14年目	H 18	1.1699	92.5	10.63	12.27		
-13年目	H 19	1.1249	91.7	12.79	14.32		
-12年目	H 20	1.0816	91.3	8.70	9.41		
-11年目	H 21	1.0400	91.3	0.90	0.94		
-10年目	H 22	1.0000	91.3	0.19	0.19		
-9年目	H 23	0.9615	91.3	0.95	0.91		
-8年目	H 24	0.9246	91.3	0.19	0.18		
-7年目	H 25	0.8890	91.3	5.25	4.67		
-6年目	H 26	0.8548	91.3	8.15	6.97		
-5年目	H 27	0.8219	91.3	12.79	10.51		
-4年目	H 28	0.7903	91.3	20.43	16.15		
-3年目	H 29	0.7599	91.3	35.16	26.72		
-2年目	H 30	0.7307	91.3	26.19	19.14		
-1年目	H 31	0.7026	91.3	14.44	10.15		
供用開始年次	H 32	0.6756	91.3			1.22	0.82
1年目	H 33	0.6496	91.3			1.22	0.79
2年目	H 34	0.6246	91.3			1.22	0.76
3年目	H 35	0.6006	91.3			1.22	0.73
4年目	H 36	0.5775	91.3			1.22	0.70
5年目	H 37	0.5553	91.3			1.22	0.68
6年目	H 38	0.5339	91.3			1.22	0.65
7年目	H 39	0.5134	91.3			1.22	0.63
8年目	H 40	0.4936	91.3			1.22	0.60
9年目	H 41	0.4746	91.3			1.22	0.58
10年目	H 42	0.4564	91.3			1.22	0.56
11年目	H 43	0.4388	91.3			1.22	0.54
12年目	H 44	0.4220	91.3			1.22	0.51
13年目	H 45	0.4057	91.3			1.22	0.49
14年目	H 46	0.3901	91.3			1.22	0.48
15年目	H 47	0.3751	91.3			1.22	0.46
16年目	H 48	0.3607	91.3			1.22	0.44
17年目	H 49	0.3468	91.3			1.22	0.42
18年目	H 50	0.3335	91.3			1.22	0.41
19年目	H 51	0.3207	91.3			1.22	0.39
20年目	H 52	0.3083	91.3			1.22	0.38
21年目	H 53	0.2965	91.3			1.22	0.36
22年目	H 54	0.2851	91.3			1.22	0.35
23年目	H 55	0.2741	91.3			1.22	0.33
24年目	H 56	0.2636	91.3			1.22	0.32
25年目	H 57	0.2534	91.3			1.22	0.31
26年目	H 58	0.2437	91.3			1.22	0.30
27年目	H 59	0.2343	91.3			1.22	0.29
28年目	H 60	0.2253	91.3			1.22	0.27
29年目	H 61	0.2166	91.3			1.22	0.26
30年目	H 62	0.2083	91.3			1.22	0.25
31年目	H 63	0.2003	91.3			1.22	0.24
32年目	H 64	0.1926	91.3			1.22	0.23
33年目	H 65	0.1852	91.3			1.22	0.23
34年目	H 66	0.1780	91.3			1.22	0.22
35年目	H 67	0.1712	91.3			1.22	0.21
36年目	H 68	0.1646	91.3			1.22	0.20
37年目	H 69	0.1583	91.3			1.22	0.19
38年目	H 70	0.1522	91.3			1.22	0.19
39年目	H 71	0.1463	91.3			1.22	0.18
40年目	H 72	0.1407	91.3			1.22	0.17
41年目	H 73	0.1353	91.3			1.22	0.17
42年目	H 74	0.1301	91.3			1.22	0.16
43年目	H 75	0.1251	91.3			1.22	0.15
44年目	H 76	0.1203	91.3			1.22	0.15
45年目	H 77	0.1157	91.3			1.22	0.14
46年目	H 78	0.1112	91.3			1.22	0.14
47年目	H 79	0.1069	91.3			1.22	0.13
48年目	H 80	0.1028	91.3			1.22	0.13
49年目	H 81	0.0989	91.3	-25.97	-2.57	1.22	0.12
合計				152.99	158.14	61.00	18.41

単純事業費計		178.96	61.00
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:安芸津バイパス(残事業)

				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.21	4.6	0.97	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-9年目	H 23	0.9615	91.3	0.95	0.91		
-8年目	H 24	0.9246	91.3	0.19	0.18		
-7年目	H 25	0.8890	91.3	5.25	4.67		
-6年目	H 26	0.8548	91.3	8.15	6.97		
-5年目	H 27	0.8219	91.3	12.79	10.51		
-4年目	H 28	0.7903	91.3	20.43	16.15		
-3年目	H 29	0.7599	91.3	35.16	26.72		
-2年目	H 30	0.7307	91.3	26.19	19.14		
-1年目	H 31	0.7026	91.3	14.44	10.15		
供用開始年次	H 32	0.6756	91.3			0.92	0.62
1年目	H 33	0.6496	91.3			0.92	0.60
2年目	H 34	0.6246	91.3			0.92	0.57
3年目	H 35	0.6006	91.3			0.92	0.55
4年目	H 36	0.5775	91.3			0.92	0.53
5年目	H 37	0.5553	91.3			0.92	0.51
6年目	H 38	0.5339	91.3			0.92	0.49
7年目	H 39	0.5134	91.3			0.92	0.47
8年目	H 40	0.4936	91.3			0.92	0.45
9年目	H 41	0.4746	91.3			0.92	0.44
10年目	H 42	0.4564	91.3			0.92	0.42
11年目	H 43	0.4388	91.3			0.92	0.40
12年目	H 44	0.4220	91.3			0.92	0.39
13年目	H 45	0.4057	91.3			0.92	0.37
14年目	H 46	0.3901	91.3			0.92	0.36
15年目	H 47	0.3751	91.3			0.92	0.35
16年目	H 48	0.3607	91.3			0.92	0.33
17年目	H 49	0.3468	91.3			0.92	0.32
18年目	H 50	0.3335	91.3			0.92	0.31
19年目	H 51	0.3207	91.3			0.92	0.29
20年目	H 52	0.3083	91.3			0.92	0.28
21年目	H 53	0.2965	91.3			0.92	0.27
22年目	H 54	0.2851	91.3			0.92	0.26
23年目	H 55	0.2741	91.3			0.92	0.25
24年目	H 56	0.2636	91.3			0.92	0.24
25年目	H 57	0.2534	91.3			0.92	0.23
26年目	H 58	0.2437	91.3			0.92	0.22
27年目	H 59	0.2343	91.3			0.92	0.22
28年目	H 60	0.2253	91.3			0.92	0.21
29年目	H 61	0.2166	91.3			0.92	0.20
30年目	H 62	0.2083	91.3			0.92	0.19
31年目	H 63	0.2003	91.3			0.92	0.18
32年目	H 64	0.1926	91.3			0.92	0.18
33年目	H 65	0.1852	91.3			0.92	0.17
34年目	H 66	0.1780	91.3			0.92	0.16
35年目	H 67	0.1712	91.3			0.92	0.16
36年目	H 68	0.1646	91.3			0.92	0.15
37年目	H 69	0.1583	91.3			0.92	0.15
38年目	H 70	0.1522	91.3			0.92	0.14
39年目	H 71	0.1463	91.3			0.92	0.13
40年目	H 72	0.1407	91.3			0.92	0.13
41年目	H 73	0.1353	91.3			0.92	0.12
42年目	H 74	0.1301	91.3			0.92	0.12
43年目	H 75	0.1251	91.3			0.92	0.12
44年目	H 76	0.1203	91.3			0.92	0.11
45年目	H 77	0.1157	91.3			0.92	0.11
46年目	H 78	0.1112	91.3			0.92	0.10
47年目	H 79	0.1069	91.3			0.92	0.10
48年目	H 80	0.1028	91.3			0.92	0.09
49年目	H 81	0.0989	91.3	-15.76	-1.56	0.92	0.09
合計				107.79	93.82	46.00	13.89
単純事業費計					123.55		46.00

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



## 便益の現在価値算定表

箇所名:安芸津バイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.6756	91.3	6.80	2.31	3.47	12.58	8.50	0.78	0.24	0.62	1.63	1.10	0.47	0.32	14.68	9.92
1年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6496	91.3	6.78	2.30	3.52	12.60	8.19	0.78	0.23	0.63	1.64	1.06	0.47	0.30	14.71	9.55
2年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6246	91.3	6.76	2.29	3.58	12.62	7.88	0.78	0.23	0.64	1.65	1.03	0.47	0.29	14.74	9.20
3年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6006	91.3	6.74	2.27	3.63	12.64	7.59	0.78	0.23	0.65	1.65	0.99	0.47	0.28	14.77	8.87
4年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.5775	91.3	6.72	2.26	3.68	12.67	7.31	0.77	0.23	0.65	1.66	0.96	0.47	0.27	14.79	8.54
5年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5553	91.3	6.70	2.25	3.74	12.69	7.05	0.77	0.23	0.66	1.66	0.92	0.47	0.26	14.82	8.23
6年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5339	91.3	6.68	2.23	3.79	12.71	6.79	0.77	0.23	0.67	1.67	0.89	0.47	0.25	14.85	7.93
7年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5134	91.3	6.66	2.22	3.85	12.73	6.54	0.77	0.23	0.68	1.68	0.86	0.47	0.24	14.88	7.64
8年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.4936	91.3	6.64	2.21	3.90	12.75	6.30	0.76	0.22	0.69	1.68	0.83	0.47	0.23	14.90	7.36
9年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4746	91.3	6.62	2.19	3.96	12.78	6.06	0.76	0.22	0.70	1.69	0.80	0.47	0.22	14.93	7.09
10年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4564	91.3	6.61	2.18	4.01	12.80	5.84	0.76	0.22	0.71	1.69	0.77	0.47	0.21	14.96	6.83
11年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4388	91.3	6.55	2.16	4.02	12.74	5.59	0.75	0.22	0.71	1.69	0.74	0.47	0.20	14.89	6.53
12年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4220	91.3	6.50	2.15	4.02	12.67	5.35	0.75	0.22	0.71	1.68	0.71	0.46	0.20	14.82	6.25
13年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4057	91.3	6.45	2.13	4.03	12.61	5.12	0.74	0.22	0.72	1.67	0.68	0.46	0.19	14.75	5.98
14年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.3901	91.3	6.40	2.12	4.03	12.55	4.90	0.74	0.22	0.72	1.67	0.65	0.46	0.18	14.68	5.73
15年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3751	91.3	6.35	2.10	4.04	12.49	4.69	0.73	0.21	0.72	1.66	0.62	0.46	0.17	14.61	5.48
16年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3607	91.3	6.30	2.09	4.04	12.43	4.48	0.72	0.21	0.72	1.66	0.60	0.45	0.16	14.54	5.24
17年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3468	91.3	6.25	2.07	4.05	12.37	4.29	0.72	0.21	0.72	1.65	0.57	0.45	0.16	14.47	5.02
18年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3335	91.3	6.20	2.06	4.05	12.31	4.10	0.71	0.21	0.72	1.64	0.55	0.45	0.15	14.40	4.80
19年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3207	91.3	6.15	2.04	4.06	12.25	3.93	0.71	0.21	0.72	1.64	0.52	0.44	0.14	14.33	4.59
20年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3083	91.3	6.10	2.03	4.06	12.19	3.76	0.70	0.21	0.72	1.63	0.50	0.44	0.14	14.26	4.40
21年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.2965	91.3	6.05	2.01	4.06	12.12	3.59	0.70	0.20	0.72	1.62	0.48	0.44	0.13	14.19	4.21
22年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2851	91.3	6.00	2.00	4.07	12.06	3.44	0.69	0.20	0.72	1.62	0.46	0.44	0.12	14.12	4.02
23年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2741	91.3	5.95	1.98	4.07	12.00	3.29	0.68	0.20	0.72	1.61	0.44	0.43	0.12	14.05	3.85
24年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2636	91.3	5.90	1.97	4.08	11.94	3.15	0.68	0.20	0.72	1.60	0.42	0.43	0.11	13.97	3.68
25年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2534	91.3	5.84	1.95	4.08	11.88	3.01	0.67	0.20	0.73	1.60	0.40	0.43	0.11	13.90	3.52
26年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2437	91.3	5.79	1.94	4.09	11.82	2.88	0.67	0.20	0.73	1.59	0.39	0.43	0.10	13.83	3.37
27年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2343	91.3	5.74	1.92	4.09	11.76	2.75	0.66	0.20	0.73	1.58	0.37	0.42	0.10	13.76	3.22
28年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2253	91.3	5.69	1.91	4.10	11.70	2.64	0.65	0.19	0.73	1.58	0.36	0.42	0.09	13.69	3.08
29年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2166	91.3	5.64	1.89	4.10	11.64	2.52	0.65	0.19	0.73	1.57	0.34	0.42	0.09	13.62	2.95
30年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2083	91.3	5.59	1.88	4.11	11.57	2.41	0.64	0.19	0.73	1.56	0.33	0.41	0.09	13.55	2.82
31年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2003	91.3	5.54	1.86	4.11	11.51	2.31	0.64	0.19	0.73	1.56	0.31	0.41	0.08	13.48	2.70
32年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.1926	91.3	5.49	1.85	4.12	11.45	2.21	0.63	0.19	0.73	1.55	0.30	0.41	0.08	13.41	2.58
33年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1852	91.3	5.44	1.83	4.12	11.39	2.11	0.63	0.19	0.73	1.54	0.29	0.41	0.08	13.34	2.47
34年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1780	91.3	5.39	1.82	4.13	11.33	2.02	0.62	0.18	0.73	1.54	0.27	0.40	0.07	13.27	2.36
35年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1712	91.3	5.34	1.80	4.13	11.27	1.93	0.61	0.18	0.73	1.53	0.26	0.40	0.07	13.20	2.26
36年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1646	91.3	5.29	1.79	4.14	11.21	1.84	0.61	0.18	0.73	1.52	0.25	0.40	0.07	13.13	2.16
37年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1583	91.3	5.24	1.77	4.14	11.15	1.76	0.60	0.18	0.74	1.52	0.24	0.40	0.06	13.06	2.07
38年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1522	91.3	5.18	1.76	4.14	11.08	1.69	0.60	0.18	0.74	1.51	0.23	0.39	0.06	12.99	1.98
39年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1463	91.3	5.13	1.74	4.15	11.02	1.61	0.59	0.18	0.74	1.50	0.22	0.39	0.06	12.92	1.89
40年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1407	91.3	5.08	1.73	4.15	10.96	1.54	0.58	0.18	0.74	1.50	0.21	0.39	0.05	12.85	1.81
41年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1353	91.3	5.03	1.71	4.16	10.90	1.47	0.58	0.17	0.74	1.49	0.20	0.38	0.05	12.78	1.73
42年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1301	91.3	4.98	1.70	4.16	10.84	1.41	0.57	0.17	0.74	1.49	0.19	0.38	0.05	12.71	1.65
43年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1251	91.3	4.93	1.68	4.17	10.78	1.35	0.57	0.17	0.74	1.48	0.18	0.38	0.05	12.64	1.58
44年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1203	91.3	4.88	1.67	4.17	10.72	1.29	0.56	0.17	0.74	1.47	0.18	0.38	0.05	12.57	1.51
45年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1157	91.3	4.83	1.65	4.18	10.66	1.23	0.56	0.17	0.74	1.47	0.17	0.37	0.04	12.50	1.45
46年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1112	91.3	4.78	1.64	4.18	10.60	1.18	0.55	0.17	0.74	1.46	0.16	0.37	0.04	12.43	1.38
47年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1069	91.3	4.73	1.62	4.19	10.53	1.13	0.54	0.16	0.74	1.45	0.16	0.37	0.04	12.36	1.32
48年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1028	91.3	4.68	1.60	4.19	10.47	1.08	0.54	0.16	0.74	1.45	0.15	0.37	0.04	12.29	1.26
49年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.0989	91.3	4.63	1.59	4.20	10.41	1.03	0.53	0.16	0.75	1.44	0.14	0.36	0.04	12.21	1.21
合計								291.76	97.89	201.31	590.95	184.11	33.56	9.96	35.78	79.29	24.48	21.33	6.71	691.58	215.30

## 便益の現在価値算定表

箇所名:安芸津バイパス(残事業)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.6756	91.3	4.90	1.67	1.70	8.27	5.59	0.64	0.19	0.27	1.10	0.74	0.32	0.22	9.69	6.54
1年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.6496	91.3	4.89	1.66	1.73	8.27	5.37	0.64	0.19	0.27	1.10	0.71	0.32	0.21	9.69	6.29
2年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6246	91.3	4.87	1.65	1.75	8.28	5.17	0.64	0.19	0.27	1.10	0.69	0.32	0.20	9.69	6.06
3年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6006	91.3	4.86	1.64	1.78	8.28	4.97	0.63	0.19	0.28	1.10	0.66	0.32	0.19	9.70	5.83
4年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.5775	91.3	4.84	1.63	1.81	8.28	4.78	0.63	0.18	0.28	1.10	0.64	0.32	0.19	9.70	5.60
5年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5553	91.3	4.83	1.62	1.83	8.28	4.60	0.63	0.18	0.29	1.10	0.61	0.32	0.18	9.71	5.39
6年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5339	91.3	4.82	1.61	1.86	8.29	4.42	0.63	0.18	0.29	1.10	0.59	0.32	0.17	9.71	5.19
7年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5134	91.3	4.80	1.60	1.89	8.29	4.26	0.63	0.18	0.30	1.10	0.57	0.32	0.17	9.72	4.99
8年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.4936	91.3	4.79	1.59	1.92	8.29	4.09	0.63	0.18	0.30	1.11	0.55	0.32	0.16	9.72	4.80
9年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4746	91.3	4.77	1.58	1.94	8.30	3.94	0.62	0.18	0.30	1.11	0.53	0.32	0.15	9.73	4.62
10年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4564	91.3	4.76	1.57	1.97	8.30	3.79	0.62	0.18	0.31	1.11	0.51	0.32	0.15	9.73	4.44
11年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4388	91.3	4.72	1.56	1.97	8.26	3.62	0.62	0.18	0.31	1.10	0.48	0.32	0.14	9.68	4.25
12年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4220	91.3	4.69	1.55	1.97	8.21	3.46	0.61	0.18	0.31	1.10	0.46	0.32	0.13	9.62	4.06
13年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4057	91.3	4.65	1.54	1.98	8.16	3.31	0.61	0.17	0.31	1.09	0.44	0.32	0.13	9.57	3.88
14年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.3901	91.3	4.61	1.53	1.98	8.12	3.17	0.60	0.17	0.31	1.09	0.42	0.31	0.12	9.52	3.71
15年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3751	91.3	4.58	1.52	1.98	8.07	3.03	0.60	0.17	0.31	1.08	0.40	0.31	0.12	9.47	3.55
16年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3607	91.3	4.54	1.51	1.98	8.03	2.90	0.59	0.17	0.31	1.07	0.39	0.31	0.11	9.41	3.40
17年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3468	91.3	4.50	1.49	1.99	7.98	2.77	0.59	0.17	0.31	1.07	0.37	0.31	0.11	9.36	3.25
18年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3335	91.3	4.47	1.48	1.99	7.94	2.65	0.58	0.17	0.31	1.06	0.35	0.31	0.10	9.31	3.10
19年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3207	91.3	4.43	1.47	1.99	7.89	2.53	0.58	0.17	0.31	1.06	0.34	0.31	0.10	9.26	2.97
20年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3083	91.3	4.39	1.46	1.99	7.85	2.42	0.57	0.17	0.31	1.05	0.32	0.30	0.09	9.20	2.84
21年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.2965	91.3	4.36	1.45	1.99	7.80	2.31	0.57	0.16	0.31	1.05	0.31	0.30	0.09	9.15	2.71
22年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2851	91.3	4.32	1.44	2.00	7.76	2.21	0.56	0.16	0.31	1.04	0.30	0.30	0.09	9.10	2.59
23年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2741	91.3	4.28	1.43	2.00	7.71	2.11	0.56	0.16	0.31	1.03	0.28	0.30	0.08	9.05	2.48
24年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2636	91.3	4.25	1.42	2.00	7.67	2.02	0.55	0.16	0.31	1.03	0.27	0.30	0.08	8.99	2.37
25年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2534	91.3	4.21	1.41	2.00	7.62	1.93	0.55	0.16	0.31	1.02	0.26	0.29	0.07	8.94	2.27
26年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2437	91.3	4.18	1.40	2.01	7.58	1.85	0.55	0.16	0.31	1.02	0.25	0.29	0.07	8.89	2.17
27年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2343	91.3	4.14	1.39	2.01	7.53	1.76	0.54	0.16	0.31	1.01	0.24	0.29	0.07	8.83	2.07
28年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2253	91.3	4.10	1.38	2.01	7.49	1.69	0.54	0.16	0.31	1.01	0.23	0.29	0.06	8.78	1.98
29年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2166	91.3	4.07	1.36	2.01	7.44	1.61	0.53	0.15	0.31	1.00	0.22	0.29	0.06	8.73	1.89
30年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2083	91.3	4.03	1.35	2.01	7.40	1.54	0.53	0.15	0.32	0.99	0.21	0.28	0.06	8.68	1.81
31年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2003	91.3	3.99	1.34	2.02	7.35	1.47	0.52	0.15	0.32	0.99	0.20	0.28	0.06	8.62	1.73
32年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.1926	91.3	3.96	1.33	2.02	7.31	1.41	0.52	0.15	0.32	0.98	0.19	0.28	0.05	8.57	1.65
33年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1852	91.3	3.92	1.32	2.02	7.26	1.34	0.51	0.15	0.32	0.98	0.18	0.28	0.05	8.52	1.58
34年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1780	91.3	3.88	1.31	2.02	7.22	1.28	0.51	0.15	0.32	0.97	0.17	0.28	0.05	8.47	1.51
35年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1712	91.3	3.85	1.30	2.03	7.17	1.23	0.50	0.15	0.32	0.97	0.17	0.28	0.05	8.41	1.44
36年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1646	91.3	3.81	1.29	2.03	7.13	1.17	0.50	0.15	0.32	0.96	0.16	0.27	0.05	8.36	1.38
37年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1583	91.3	3.77	1.28	2.03	7.08	1.12	0.49	0.14	0.32	0.96	0.15	0.27	0.04	8.31	1.31
38年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1522	91.3	3.74	1.27	2.03	7.04	1.07	0.49	0.14	0.32	0.95	0.14	0.27	0.04	8.26	1.26
39年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1463	91.3	3.70	1.26	2.04	6.99	1.02	0.48	0.14	0.32	0.94	0.14	0.27	0.04	8.20	1.20
40年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1407	91.3	3.66	1.24	2.04	6.95	0.98	0.48	0.14	0.32	0.94	0.13	0.27	0.04	8.15	1.15
41年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1353	91.3	3.63	1.23	2.04	6.90	0.93	0.47	0.14	0.32	0.93	0.13	0.26	0.04	8.10	1.10
42年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1301	91.3	3.59	1.22	2.04	6.86	0.89	0.47	0.14	0.32	0.93	0.12	0.26	0.03	8.04	1.05
43年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1251	91.3	3.55	1.21	2.04	6.81	0.85	0.46	0.14	0.32	0.92	0.12	0.26	0.03	7.99	1.00
44年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1203	91.3	3.52	1.20	2.05	6.76	0.81	0.46	0.14	0.32	0.92	0.11	0.26	0.03	7.94	0.95
45年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1157	91.3	3.48	1.19	2.05	6.72	0.78	0.45	0.13	0.32	0.91	0.11	0.26	0.03	7.89	0.91
46年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1112	91.3	3.44	1.18	2.05	6.67	0.74	0.45	0.13	0.32	0.90	0.10	0.25	0.03	7.83	0.87
47年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1069	91.3	3.41	1.17	2.05	6.63	0.71	0.44	0.13	0.32	0.90	0.10	0.25	0.03	7.78	0.83
48年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1028	91.3	3.37	1.16	2.06	6.58	0.68	0.44	0.13	0.32	0.89	0.09	0.25	0.03	7.73	0.79
49年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.0989	91.3	3.33	1.15	2.06	6.54	0.65	0.44	0.13	0.32	0.89	0.09	0.25	0.02	7.68	0.76
合計								210.25	70.60	98.76	379.62	119.03	27.46	8.00	15.45	50.91	15.91	14.64	4.60	445.17	139.55

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道185号	安芸津バイパス	2/2	6.1km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	10,064	
	改良費		式	1	3,019	
		土工	m <sup>3</sup>	817,200	2,020	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	—	—	
		法面工	m <sup>2</sup>	97,700	141	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	240	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		函渠工	式	1	618	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	1,292	
		100m以上	m	118	563	ME橋(1橋)
		100m未満	m	88	729	PC橋(4橋)
	トンネル費		式	1	4,989	
		NATM	m	1,564	4,989	4本
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	449	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	53,960	389	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	16,455	60	
	附帯施設費		式	1	316	
交通管理施設工		式	1	316	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等	
遮音壁		m	—	—		
②用地及び補償費			式	1	5,780	
	用地費		式	1	2,597	
		宅地	m <sup>2</sup>	28,334	1,581	
		田畑	m <sup>2</sup>	109,955	948	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	53,636	68	
補償費		式	1	3,183		
③間接経費			式	1	2,655	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					18,500	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道185号	安芸津バイパス	2/2	6.1km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	7,325	
	改良費		式	1	2,592	
		土工	m <sup>3</sup>	652,200	1,755	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	—	—	
		法面工	m <sup>2</sup>	71,700	122	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	199	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		函渠工	式	1	516	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	788	
		100m以上	m	118	563	ME橋(1橋)
		100m未満	m	33	226	PC橋(2橋)
	トンネル費		式	1	3,372	
		NATM	m	265	3,372	3本
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	316	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	37,099	274	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	11,548	42	
	附帯施設費		式	1	256	
		交通管理施設工	式	1	256	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	1	3,940	
	用地費		式	1	1,576	
		宅地	m <sup>2</sup>	14,834	992	
		田畑	m <sup>2</sup>	61,955	532	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	40,636	51	
	補償費		式	1	2,364	
③	間接経費		式	1	1,511	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					12,776	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道185号	安芸津バイパス	2	6.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.1	1,525	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	4,880	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,405	



(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道185号	安芸津バイパス	2	4.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.6	1,150	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	3,680	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,830	

一般国道185号 安芸津バイパス

〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第1006号  
国中整港計第1004号  
平成23年3月3日

広島県知事 殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年3月8日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年3月7日（月）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

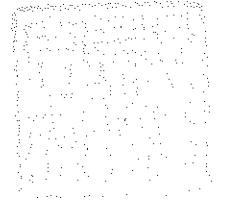
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 広島南道路	継続	
一般国道183号 鍵掛峠道路	継続	
一般国道185号 安芸津バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 総 第 1 0 0 号  
平成23年 3月 7日

中国地方整備局長 様

広島県知事



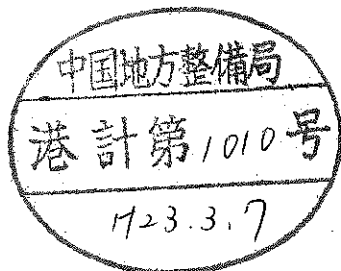
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
意見照会について（回答）

平成23年3月3日付け国中整企画第1006号及び国中整港計第1004号で照  
会のあった下記事業について、対応方針（原案）案については異存ありません。  
なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・ 道路事業 一般国道2号 広島南道路
- ・ 道路事業 一般国道183号 鍵掛峠道路
- ・ 道路事業 一般国道185号 安芸津バイパス

以上



担当

総務管理部土木総務課経営調整グループ

電話 082-513-3814

FAX 082-223-3593



## 中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

## 【道路事業】

事業名	一般国道2号 広島南道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(具体的意見)</p> <p>広島港臨海部における東西の幹線軸となる広島南道路は、広島都市圏の都市機能の向上や、周辺地域との連携強化を図る上で必要不可欠な社会基盤であり、現在事業中の安芸バイパスや、東広島バイパスをはじめ、放水路渡河部以西を含めた広域的なネットワークの形成により、本来期待される機能が十分に発揮されるものと考えます。</p> <p>つきましては、今後とも引き続きコスト縮減に努めながら、広島南道路の事業化区間全線供用に向け整備を促進するとともに、早期に広域的なネットワークが形成されるよう努めていただきたい。</p>	
事業名	一般国道183号 鍵掛峠道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(具体的意見)</p> <p>鍵掛峠道路は、広島県備北地域と鳥取県西部地域の連携や地域間交流の活性化機能の向上が図られるとともに、現道の線形不良区間・異常気象時通行規制区間を解消できるなど、防災上の観点から重要な道路であると考えます。</p> <p>つきましては、今後とも引き続きコスト縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。</p>	
事業名	一般国道185号 安芸津バイパス
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(具体的意見)</p> <p>安芸津バイパスは、現道において、異常気象時に越波や路面冠水による通行止めが発生している区間があり、防災上の観点から重要な道路であると考えております。</p> <p>現在、一部区間が供用されているものの交通転換が進まず、バイパスとしての機能が十分に発揮されていない状況となっております。</p> <p>つきましては、今後とも引き続きコスト縮減に努めながら、計画的に整備を進めていただきたい。</p>	